# ◆ 基本目標4 文化活動の充実 ◆

### 基本的施策 1

## 市民文化・市民芸術の活性化





整理番号	4-1-1
担当課	生涯学習課 教育総務課 地域振興課

文化・芸術に親しむ機会を充実します

事業区分(方向性)

現状と課題

文化・芸術は、想像力豊かなひとづくりと活気あるまちづくりには欠かせないものであり、市民が 普段から身近に感じることができる環境をつくることが重要です。

そのためには、子どもの頃から古典芸能などを鑑賞する機会を提供し、文化・芸術に親しむ心をは ぐくむことが大切です。また、市民参加型のイベントなどを通じた文化芸術活動の充実など、あらゆ る世代が日頃から関心を持ち、文化・芸術を身近に感じてもらえるような機会を提供していく必要が あります。

#### 事業の方向性

古典芸能などの鑑賞、「ののいちマナビィフェスタ」など、子どもから大人まで幅広い世代を対象に文化・芸術を身近に感じてもらえるような機会を提供します。

- 市立小中学校でスクールシアター、古典芸能、オーケストラを鑑賞する機会の提供
- ・「ののいちマナビィフェスタ」などを通じた文化・芸術鑑賞、活動する機会の提供

# 基本目標4 文化活動の充実 ◆

### 基本的施策 2

## 文化財と文化資産の保全・ 再整備と活用







整理番号 4-2-1 生涯学習課

担当課

郷土芸能伝承行事の団体活動や後継者の

育成を支援します

事業区分(方向性)

▲:拡大・重点化

#### 現状と課題

獅子舞・虫送り・豊年野菜神輿といった郷土芸能伝承行事を後世に伝えていくために、伝承団体に 対する助成や活動の援助を行います。特に保存すべき郷土芸能伝承行事については、市指定文化財に 指定するため、学識経験者などによる調査を行う必要があります。

#### 事業の方向性

郷土芸能伝承行事の市文化財指定に向けた調査を進めていきます。また、それらの行事を次世代に 継承するため、継続して伝承団体に対する助成や活動の援助を行います。

- ・郷土芸能伝承行事についての理解を深めるため、企画展や講座、市広報、市ホームページによる紹介
- ・保存すべき郷土芸能伝承行事の市文化財指定に向けた学識経験者などによる調査活動の実施

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
郷土芸能伝承行事普及啓発活動件数 (累計)	回	1	15	令和3年度から13年度の 郷土芸能伝承行事をPR した件数の累計
市指定無形民俗文化財の件数	件	1	4	特に重要な郷土芸能伝承行事 を指定し保存意識を高める



生涯学習課

整理番号 4-2-2

担当課

## 市内の文化遺産を活用した企画展や

イベントなどを充実します

事業区分(方向性)

**C**:継続

#### 現状と課題

毎年、古代体験学習、文化財施設での企画展、ふるさと歴史講演会を主として市内の文化遺産を啓発する活動を行っています。新型コロナウイルスの影響でイベントなどが制限される中、状況に応じた事業展開が必要です。イベント開催時には、関係団体や市立小学校との連携した実施の検討が必要です。

#### 事業の方向性

魅力的でわかりやすい展示や体験イベントを企画し、市内外の幅広い年齢層に向けて市内の文化遺産を伝える機会を設けるよう事業を行っていきます。

- ・ 発掘調査した遺跡やその他の歴史資料を紹介する企画展の開催
- ・ 縄文土器づくり、勾玉づくりをはじめとした歴史体験イベントの実施
- ・有識者による講演会の開催
- ・職員による市立小学校での講座の実施
- ・ 市ホームページ等を活用した歴史や文化財の情報発信
- 市内の歴史や文化財を紹介するパンフレット等の作成

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
イベントなどへの参加者	人/年	1,694	5,000	歴史体験や講演会等のイベ ントに参加した人数の累計
文化財施設の利用者数	人/年	4,309	10,000	ふるさと歴史館·郷土資料館· 喜多家住宅の利用者数の累計



ふるさと歴史講演会



夏休み古代体験

担当課

整理番号 4-2-3

生涯学習課

埋蔵文化財発掘調査の最新情報の発信を充実します

事業区分(方向性)

▲:拡大・重点化

#### 現状と課題

市内で行われる発掘調査について、その成果の最新の情報を市民に対して発信するため、現地説明会や企画展などを実施しています。現地説明会については、発掘調査の条件によって実施できない場合もあるため、市ホームページ等を活用し情報を発信する必要があります。

#### 事業の方向性

現地説明会や企画展などを実施し、積極的な情報発信を行います。

- ・ 地域の歴史への理解と愛着を促進するため、発掘調査、現地説明会や企画展の開催
- ・市ホームページ等を利用した、現地説明会や企画展などの情報発信



田尻ジッタ遺跡発掘調査現地説明会



埋蔵文化財企画展

生涯学習課

整理番号 4-2-4

担当課

### 市内の文化遺産の情報を発信するデジタル資料館を 充実します

事業区分(方向性)

▲:拡大・重点化

#### 現状と課題

市内の文化遺産の情報を広く利活用してもらうために、インターネット上にデジタルアーカイブを 設け、公開しています。現在は、指定文化財・民俗芸能・写真資料を主に公開していますが、その他 の文化財についても随時更新し、広く周知する必要があります。

#### 事業の方向性

新規に発見された遺跡、調査研究で明らかになった歴史資料、民俗文化財など、新たなコンテンツの更新やデジタル資料館の周知活動を拡大していきます。

- ・ デジタル資料館の新規コンテンツの更新
- ・市ホームページや市広報への掲載などによる、デジタル資料館の周知活動の充実

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
デジタル資料館へのアクセス数	人/年	4,417	7,000	



デジタル資料館トップページ

担当課

整理番号 4-2-5

生涯学習課

市内の文化遺産のガイダンス設備を充実します

事業区分(方向性)

▲:拡大・重点化

#### 現状と課題

遺跡をはじめ市内の文化遺産について、市民に広くその存在を周知するために説明看板を設置しています。発掘調査などによって新たに発見された遺跡などへの計画的な設置が必要です。

#### 事業の方向性

新設の看板だけでなく既存の看板にもQRコードを取り付け、詳細情報を提供するなど、市民に広く文化遺産の存在を周知できるような活用方法を工夫していきます。

- ・新規看板の設置・既存看板の内容の更新
- ・市ホームページ等による説明看板の周知

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
文化財説明看板の整備数	基	58	70	市内各地に置かれている遺跡 などを紹介する説明看板の数



説明看板(経塚)



説明看板(旧藤村家住宅)

生涯学習課

整理番号 4-2-6

担当課

史跡末松廃寺跡の解明を進め魅力ある再整備を 実施します 事業区分(方向性)

**C**:継続

#### 現状と課題

国史跡末松廃寺跡は白鳳時代の寺院跡で、昭和46年度に史跡公園として供用が開始されて以降、市民に親しまれています。一方、完成から約50年が経過しており、公園内の劣化が進んでいることから、新たに整備を実施し、今後も史跡を適切に保存しつつ市民により一層活用され、地域に愛着を持ってもらうよう努めます。

また、現在の整備は昭和41・42年度に実施した発掘調査成果をもとにしていますが、再整備に向けた発掘調査を実施したことで、これまで不明であった末松廃寺跡の姿がさらに明らかになってきています。今後も寺院の実態を明らかにしたい箇所について発掘調査を実施し、その成果をもとに再整備事業を実施する必要があります。

#### 事業の方向性

末松廃寺跡の発掘調査を実施したのち、史跡の保存及び活用の基本方針である保存活用計画を策定します。この計画に基づき、再整備事業の基本方針である整備基本計画を策定し、公園の再整備に着手します。発掘調査及び計画の策定については、学識経験者などで構成される委員会に諮りながら実施します。

#### 具体的な取組

- ・金堂・講堂などの発掘調査の実施
- ・保存活用計画・整備基本計画の策定
- ・公園再整備工事の実施

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
発掘調査の進捗率	%	80	100	再整備に伴う発掘調査を実施
末松廃寺跡の再整備進捗率	%	45	100	発掘調査実施分含む



調査風景



史跡末松廃寺跡

担当課

整理番号 4-2-7

生涯学習課

貴重な歴史遺産である史跡御経塚遺跡の再整備を 実施します 事業区分(方向性)

▲:拡大・重点化

#### 現状と課題

現在は重要文化財に指定されている御経塚遺跡出土品の土器・土製品・骨角器などの保存修理を行い、御経塚史跡公園に隣接しているふるさと歴史館で展示しており、視覚的に文化財の魅力を広く市民に伝えられるようにしています。昭和58年に完成した御経塚遺跡の史跡整備は、周辺の調査で得た成果をもとに復元されており、その場所の本来の姿を示していません。そのため、史跡内の発掘調査の実施により、縄文時代のムラの様相をさらに明らかにし、その成果を原位置で再整備する必要があります。

#### 事業の方向性

重要文化財御経塚遺跡出土品は計画的に保存修理を実施し、修理後は御経塚史跡公園前のふるさと歴史館内にて保存及び展示を実施します。修理の実績をわかりやすく周知するため、展示手法の工夫やデジタル資料館等を活用して広く公開していきます。再整備事業については、史跡指定地内の発掘調査を実施して縄文時代のムラの様相をより明らかにしていきます。

- ・重要文化財御経塚遺跡出土品の保存修理、管理、展示
- ・修理後の出土品の博物館施設への貸し出し及びデジタル資料館による公開
- ・末松廃寺跡再整備事業完了後の御経塚遺跡再整備における発掘調査の計画的推進

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
重文御経塚遺跡出土品修理の進捗	%	65	100	計280点に及ぶ土器・土製品・ 骨角器の保存修理を実施



御経塚遺跡出土品展示



土偶修理前



土偶修理後

整理番号 4-2-8

担 当 課 生涯学習課

### 文化財施設の計画的整備と活用を図ります

事業区分(方向性)

**C**:継続

#### 現状と課題

文化財施設の中には、建物の老朽化が進んでいる箇所やバリアフリー対応が不十分な箇所も見受けられるため、「公共施設個別施設計画」に基づき計画的な施設の改修を行う必要があります。本市の文化財施設には、喜多家住宅や郷土資料館(旧魚住家住宅)のような歴史的・文化的に価値のある建物があります。これらの建物については、保存だけでなく積極的な活用が求められます。活用には、地元の大学の課外活動としての場の提供、関係団体のイベントでの利用、学生と地域住民との交流の場として利用できる仕組みづくりなどが必要です。

#### 事業の方向性

ふるさと歴史館、郷土資料館、喜多家住宅の文化財施設については、展示設備の整備などを計画的に実施していきます。また、市民の文化力の向上を図るため、郷土の歴史や、文化・産業等の紹介をカミーノ、カレード、フォルテなどの公共施設や関係団体、地元の大学などと連携して実施します。

- ・「公共施設個別施設計画」に基づいた計画的な文化財施設の改修
- ・ 野々市の歴史、郷土文化・産業の紹介をするなど、文化財施設の活用促進
- ・市民の文化力の向上のため、文化財施設と他の公共施設などと連携を図った事業の実施
- ・御経塚遺跡の再整備に併せたふるさと歴史館展示設備の計画的整備



ふるさと歴史館



郷土資料館